環境放射能測定実施計画

令和7年4月

 宮
 城
 県

 女
 川
 町

 石
 巻
 市

 東北電力株式会社

沿革

平成 20 年 5 月 29 日 作成 平成 21 年 6 月 1 日 一部改定 平成 31 年 3 月 8 日 一部改定 令和 5 年 5 月 30 日 一部改定 令和 7 年 4 月 1 日 一部改定

環境放射能測定実施計画

1 目的

この計画は、「女川原子力発電所環境放射能及び温排水測定基本計画」に基づき実施する環境 放射能測定に係るモニタリングステーションにおける測定項目、環境試料の採取計画及び環境 試料の前処理方法の詳細な事項を定めたものである。

2 モニタリングステーションにおける測定項目

各モニタリングステーションにおける測定項目は表1のとおりとする。

3 環境試料の採取計画

環境試料の種類、採取時期、採取地点及び採取頻度は表2のとおりとする。また、採取地点の区分を図に示す。

4 環境試料の前処理方法

環境試料の前処理方法は表3のとおりとする。

5 施行日

この計画は、令和7年4月1日から施行する。

表1 モニタリングステーション (MS) における測定項目

項目 M S 名	設 置 者	空間ガンマ	空間ガンマ線	空間ガンマ線	風向・風速	感雨及び	土壤水分	気温	日射量	放射収支量	全ベータ放射能濃度及び大気浮遊じん中の全ア
女 川	地方 自治体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飯子浜	"	0	0	0	\bigcirc						0
小屋取	"	0	0	0	\circ	0					
寄 磯	"	0	0	0	0	0					
鮫 浦	"	0	0	0	0	0					0
谷 川	"	0	0	0	0						
荻 浜	"	0	0	0	0	0					
塚 浜	施設者	0	0	0	0						
寺 間	"	0	0	0	0	0					
江 島	"	0	0	0	0	0					
前 網	"	0	0	0	0						

該当項目を○印で示す。

表 2 環境試料採取計画

表 2	塚 現試料	71木収	四旧			頻度	試料数(注1)		
区分	対象物	試料名		実施者	地点数	^{頻度} 回/年	試料/年	採取地点名	採取時期
農産物		精米		地方自治体	1	1	(1) 1	谷川浜	収穫期
		竹門	~	施設者	1	1	(1) 1	大原浜	収穫期
	農産物		根	地方自治体	2	1	2	女川浜、小渕浜	収穫期
		大根	葉		2	1	2		
			根 葉	施設者	1	1	1	付替県道	収穫期
			未	地方自治体	2	2	[4] 4	女川浜、泊浜	7、1月
	陸水	水道	亰水	施設者	1	4	[2] 4	針浜	毎四半期
								谷川浜、	
	陸 土	未耕	土	地方自治体	2	1	2	※大崎市岩出山	6月
				施設者	1	1	(1) 1	牡鹿ゲート付近	12 月
陸 上				地方自治体	2	12	24	モニタリングステーション (女川、寄磯)	毎月
試 料	浮遊じん	浮遊じん	じん	施設者	2	12	24	モニタリングステーション (塚浜、前綱)	毎月
				心故省	2	4	8	モニタリングステーション (寺間、江島)	毎四半期
				地方自治体	2	12	24	女川町浦宿浜 ※仙台市宮城野区幸町	毎月
	降下物	雨水、ちり	より		3	4	12	飯子浜、鮫浦、谷川浜	毎四半期
	14 1 123			16 = n +v	2	12	24	小屋取、牡鹿ゲート	毎月
				施設者	2	4	8	塚浜、付替県道	毎四半期
		3 =	・ギ	地方自治体	2	1	(2) 2	谷川浜、 ※大崎市岩出山	7月
	指標植物	,		施設者	1	1	(1) 1	付替県道	7月
			松 葉	±=== +v	1	4	(1) 4	小屋取	5、8、11、2 月
				施設者	2	2	4	牡鹿ゲート付近、 付替県道	5、11月
		アイナ	アイナメ	地方自治体	1	1	(1) 1	前面海域	漁期
				施設者	1	2	(1) 2	前面海域	漁期
海 洋 試 料 海			` ±	地方自治体	4	1	(2) 4	野々浜、尾浦、分浜、 ※気仙沼 (各地先)	漁期
				施設者	1	2	(1) 2	飯子浜(地先)	漁期
	魚介類	エゾア	'ワビ	地方自治体	1	1	1	放水口付近	漁期
		キタムラサ キウニ		施設者	1	1	1	小屋取(地先)	漁期
		マボ		地方自治体	2	1	(1) 2	小屋取、塚浜 (各地 先)	漁期
				施設者	1	1	(1) 1	小屋取(地先)	漁期
	海藻	ワカメ		地方自治体	2	1	(1) 2	放水口付近、前面海域	漁期
) <i>y</i>	施設者	1	2	(1) 2	放水口付近	漁期
	3 -	表層水				2	共沈法 ^(注2) [2] 2		5、11月
					1	6	迅速法(注3)	放水口付近	5,8,9,
	海 水		水	地方自治体			6	4 太 津 <i>冰</i>	11、2、3月
				-	1	2	2	鮫浦湾 ※ 5 仙辺迹	5、11月
					1	1	[1] 1	※気仙沼湾	10 月

表2 環境試料採取計画(続き)

71724 1	沖採取計画	(舵さ)		# Z ↔	=_上小小 北仁(注 1)		
対象物	試料名	実施者	地点数	頻度 回/年	試料数件	採取地点名	採取時期
		施設者	1	4	共沈法 4(1)[2]	放水口付近	4、7、10、 1月
海 水	表層水			6	迅速法 6	放水口內近	4、6、7、 10、12、1 月
			1	4	[2] 4	取水口付近	4、7、10、 1月
		地方自治体	2	2	4	放水口付近、鮫浦湾	5、11月
海底土			1	1	1	※気仙沼湾	10 月
	(19)	施設者	2	4	(1) 8	放水口付近、取水口付 近	4、7、10、 1月
	ア ラ メ エゾノネジ モク	地方自治体	1	2	灰化法 ^(注4) (1) 2 迅速法 ^(注5) 2	放水口付近	8、11月
			2	2	灰化法 4	※対照海域の2地点	8、11 月
					迅速法 4	(北側、西側)	
		施設者	1	2	灰化法	前面海域	
					(1) 2 迅速法 2		8、11月
			1	2	灰化法 2	周辺海域	8、11月
					迅速法 2		
			1	2	灰化法 2	※対照海域(南側)	8、11 月
					迅速法 2		
指標		地方自治体	1	2	灰化法	放水口付近	5、2月
海産物					迅速法 2		
			2	2	灰化法 4	※対照海域の2地点 (北側、西側)	5、2月
					迅速法 4		
		施設者	1	2	灰化法	前面海域	
					(1) 2		5、2月
			1	2		- 周辺海域	5、2月
				2		※対照海域(南側)	5、2月
			1				
	ムラサキ イガイ	地方自治体	1	2	2	前面海域	4、10 月
		施設者	1	2	(1) 2	前面海域	7、1月
숌 計		地方自治体	41		125 (10)		
		施設者	33		137 (13) [6]		
	海海底	海水 表層水 表層水 表層水 表層水 表層水 表層水 表層水 表層水 ファラ メック・スター カー・ボー カー・ボール カー・ボー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボ	海水 表層水 施設者 (本語) 地方自治体 (本語) 地方自治体 (本語) 地方自治体 (本語) がある。 (本語) が表現する。 (本語) がまれままままままままままままままままままままままままままままままままままま	海水 表層水 施設者 1 海底土 表層土 (砂) 地方自治体 (型) 1 地方自治体 1 地方自治体 2 水 海底土 地方自治体 (型) 1 北方自治体 (型) 1 ムラサキイガイ (地方自治体 (型) 1 水 方 サキイガイ (地方自治体 (型) 1 地方自治体 (型) 4 地方自治体 (型) 4 地方自治体 (型) 4 本 (型) 1 本 (型) 1	海水 表層水 施設者 日本 日本	対象物 試料名 実施省 地点数 回夕年 試料/年 共次法 4 (1) [2] 海底土 表層土 (砂) 施設者 1 4 [2] 4 (1) 2] 2 2 4 4 (1) [2] 4 海底土 表層土 (砂) 地方自治体 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対象物 談科名 美胞有 地方自治体 日本 東次法 4 (1) [2] 6 迅速法 6 放水口付近 放水口付近 放水口付近、穀浦湾 海底土 表層土 (砂) 地方自治体 施設者 2 2 4 位 放水口付近、穀浦湾 1 2 (1) 2 辺速法 2 放水口付近、穀浦湾 2 (1) 2 辺速法 4 地方自治体 地方自治体 1 2 2 (1) 2 辺速法 2 放水口付近、取水口付近、取水口付近、取水口付近、取水口付近、取水口付近、取水口付近、取水口付近、取水口付近、取水口付近 上方自治体 海産物 1 2 2 2 辺速法 2 灰化法 4 (1) 8 以水口付近 上方自治体 海産物 1 2 2 2 辺速法 2 大の化法 2 (1) 2 辺速法 2 上方自治体 下方自治体 1 2 2 2 辺速法 2 大の化法 4 (1) 2 2 2 2 大の水口付近 上方自治体 イガイ 1 2 2 2 2 3 前面海域 大の化法 2 2 2 3 3 2 2 大の水口付近 大の大口付近 大の上付近 大の大口付近 大口付近 大口付近 大口付近 大口付近 大口付近 大口付近 大口付近 大口付近 大口付加速 大口付加速 大口付近 大口付近

⁽注1) 試料数は、ゲルマニウム半導体検出器による測定試料数を示す。また、Sr (ストロンチウム) 90は ()で、 H-3 (トリチウム) は [] で、それぞれの測定試料数を示す。

⁽注 2) AMP-MnO₂ (リンモリブデン酸アンモニウムー二酸化マンガン) 共沈法による。

⁽注3) マリネリビーカーにより、未処理海水を測定する方法による。

⁽注4) 試料を乾燥及び灰化して測定する方法による。 (注5) 試料を生のまま又は乾燥後、粉砕して測定する方法による。 ※印は、比較のための対照地点(海域)であることを示す。

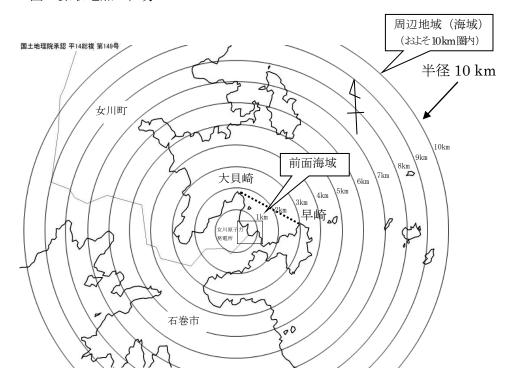




表3 環境試料の前処理方法

区分	対象物	試料名		前処理方法		
		精業	ŧ	灰化		
	農産物	大根	根	灰化		
		入低	葉	灰化		
陸	陸水	水道原為	ĸ	蒸発乾固		
上試	陸土	未耕土		乾燥		
料	浮遊じん	浮遊じん	i l	直接又は灰化		
	降下物	雨水、ち	IJ	蒸発乾固		
	指標植物	3 1 =	ř	灰化		
	161宗他初	松		灰化		
		アイナン	4	灰化		
	魚介類	マガキ		灰化		
		エゾアワ	Ľ	灰化		
		キタムラサゴ	 テウニ	灰化		
		マボヤ		灰化		
海洋	海	ワカメ		灰化		
試 料	海水	表 層 水		AMP-MnO₂共沈		
	海水	衣眉。	·/\	未処理 ^(注1)		
	海底土 (砂)	表層土	:	乾燥		
		-z- /		灰化		
		アラメ	•••	生又は乾燥 ^(注2)		
	指標	エゾノネジモク		灰化		
	海産物			生又は乾燥 ^(注2)		
		ムラサキィ	′ガイ	灰化		

⁽注1) I (ヨウ素) -131も測定対象とするため。

⁽注2) I - 131を測定対象とするため。